

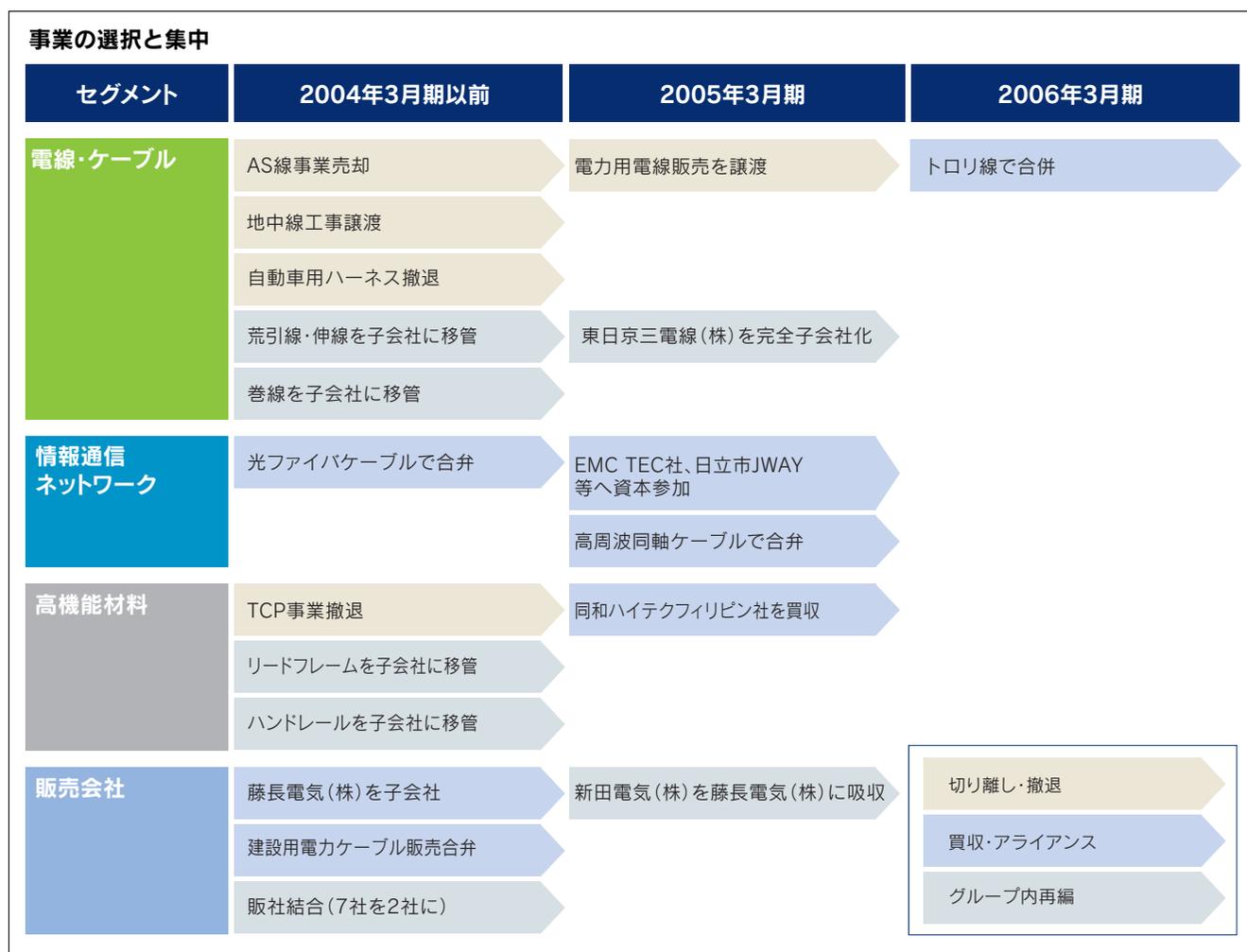
サバイバルプロジェクトの進捗状況

徹底した事業の選択と集中で計画を推進

サバイバルプロジェクトの必達目標である「2006年3月期のFIV黒字化」を達成するために、経営施策の実行スピードをこれまで以上に重視し、徹底した事業の選択と集中を図り、コストダウンとスリム化に取り組んでいます。

当社グループの事業セグメントは、成長の柱となる「情報通信ネットワーク」及び「高機能材料事業」、基盤となる「電線・ケーブル事業」並びに「その他事業」で構成されています。情報通信ネットワーク事業では情報ネットワークソリューションを、高機能材料では化合物半導体と銅条を、電線・ケーブル事業では機器用電線・配線部品を、それぞれ注力事業としています。

これら注力事業は、明確な戦略の下、着実に成果を生み出しています。なお、詳しくは8ページ以降のセグメント概況をご覧ください。



着実に成果を達成

売上高では、2年連続して目標を達成しています。経常利益では、2004年3月期は目標を達成しましたが、2005年3月期は残念ながら達成できませんでした。これは、デジタル家電関連の需要が期後半に入って低迷したことと、原材料価格の高騰や円高の影響によるものです。

サバイバルプロジェクトの仕上げの年である2006年3月期は、売上高3,900億円、経常利益175億円を目標としています。当初の計画では、経常利益目標は200億円としていましたが、棚卸資産や有利子負債などの資本コストの削減は目標を上回るペースで達成できており、半導体関連の需要回復の遅れや原材料価格の上昇等を勘案し経常利益を下方修正しても、サバイバルプロジェクトの最終目標であるFIV黒字化を達成できる見込みです。

私たちは、FIV黒字化という最終目標を達成するために、力強く前進していきます。

